

筋弛緩剤「エスラックス®静注」について

筋弛緩剤のスキサメトニウム注は、原薬製造所である会社が2021年3月に行政処分を受け、原薬の製造が困難になって以降、限定出荷の状態でした。

現在においても、日本薬局方に適合する原薬の確保に至っておらず、現在庫の消尽をもって供給を一時停止することです。

当院では、うつ病・躁うつ病・統合失調症等に対し改善率や安全性が極めて高い修正型電気けいれん療法（m-ECT）を実施しておりますが、この治療法にスキサメトニウムは必須な薬剤です。

m-ECTを継続させるべく、今回スキサメトニウムの代替薬としてロクロニウム集荷物注射液（エスラックス®静注）を使用することといたしました。

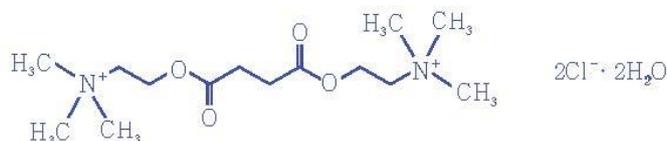


Fig.1 塩化スキサメトニウム

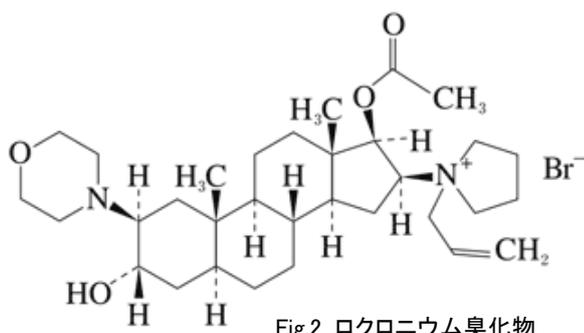


Fig.2 ロクロニウム臭化物

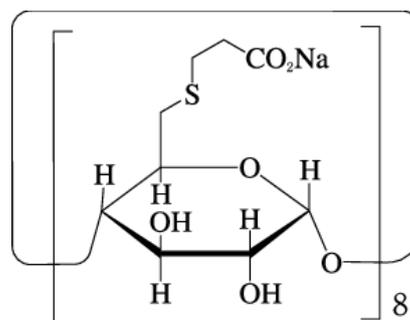


Fig.3 スガマデクスナトリウム

エスラックス®は、作用発現が速い非脱分極性筋弛緩剤とされており、作用持続時間は用量依存的です。追加投与において持続投与が可能であることも特徴の一つです。

また、深い筋弛緩状態からの速やかな回復には、スガマデクスナトリウム（ブリディオ®注）を用います。

安心・安全な m-ECT を施行するために、薬剤の適正使用を考えていきたいと思っております。

意欲喚起プログラムの講話について

先日地域移行機能強化病棟における退院意欲の向上を目的とした意欲喚起プログラムの一環でお薬のお話を講話として行いました。お薬の分類、剤形の特徴や服用の必要性等々を 32 名の患者さんに説明いたしました。

服薬管理(飲み忘れないために)

自分の体の中に入れるものは自分でしっかりと把握しよう!

薬の必要性を理解して、薬と向き合う意識を持ちましょう

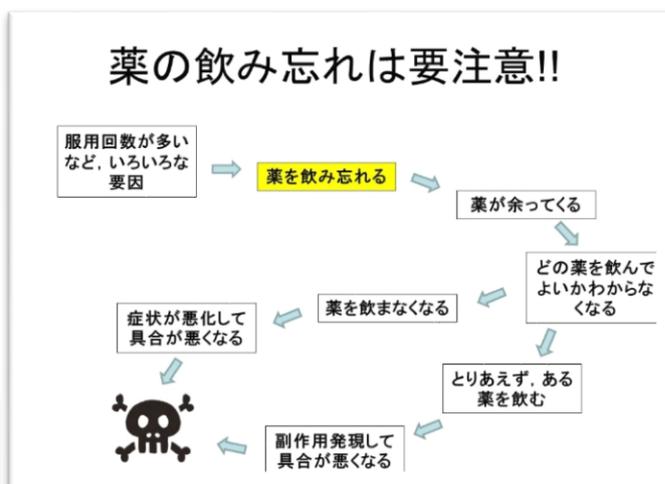
飲み忘れないためのポイントは、「習慣化」と「道具の活用」



飲みやすい薬への変更
たとえば
粉薬⇒錠剤
錠剤⇒水薬



お薬のレジャーに入れて保管
ケースやかごに入れて保管



今回は上記に加えて、薬の飲み忘れと薬剤管理について解説いたしました。

服用忘れのないことが一番大切です。アドヒアランスが保てれば、あまり忘れることはないようです。

とはいうものの、忘れてしまうことは多々あります。そのような時は気が付いたときに服用することです。ただし、一度に二回分の薬を飲んではいけません。

私の拙い話しにも耳を傾けていただいた患者さんたちに感謝いたします。お薬について少しでも理解を深めていただきたいと思います。安心安全な薬物治療のお手伝いを今後も続けていこうと感じました。

★編集後記

新型コロナ感染症は5月に感染症法の位置づけが変更となるもようです。

ワクチンや治療費をはじめ、人々の生活にもいろいろと変化がもたらされるようです。

しかし、感染対策は今まで通り継続をお願いしたいと思います。

